

# まるこやま

第59号

令和2年1月20日

〒699-1251  
雲南市大東町大東2419-1  
大東交流センター  
TEL(0854)43-2130  
E-mail:daito-c@hotmail.com

大東交流センターだより

発行：大東地区自治振興協議会

# 福

無病息災

獅子に噛みつかれて  
福の神が憑く  
本年も素晴らしい一年に  
なりますように



東町睦月会による元日獅子舞廻り



# 年頭のごあいさつ

大東地区自治振興協議会 会長 小山 保雄

明けましておめでとうございます。皆様には良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、大東地区の自主組織である自治振興協議会並びに各種団体の活動にご協力ご支援を賜り心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、元号も令和となり初めての正月、十二支では一番目の子の年、まさに新しい時代の一步ではないかと思えます。都市計画道路新庄飯田線整備も最終の東町工区、県道上久野大東線清田橋より上への道路整備、新庄地内の住宅団地整備、それぞれに事業が推進されております。また、放課後児童支援施設も3月には完成し4月に開所となります。少子高

齢化、人口減少、大東高校生増対策、防災等、課題山積みするなか大東地区民「ワンチーム」で前進しなければなりません。

「自立と生産」を基本理念とし、「知恵を出し合い、汗を出し合い、ものを出し合いながら、自分たちの地域は自分たちで守り育て創りあげてゆこう」を合言葉に、本年も皆様の絶大なるご支援とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

おわりに皆様のご健勝と、新しい年が活発で幸せな年であります様に心よりお祈り申し上げます。



## 私の健康法

### 感謝と喜びの心を大切に

健康法はと問われましても、私のしていることはゴロを押して歩くことぐらいです。区画整理事業でキレイになった大木原の道を散歩するのが日課です。早寝早起きで夜8時頃に寝て朝4時頃に目が覚めます。それから布団を上げたり、着換えたりで1時間もかかってしまいます。6時台に支度して朝食、7時から新聞に目を通し、8時から朝ドラを見て、散歩に出かけます。帰ったら本を読み、昼食のあと洗濯や入浴をします。

台所には毎日立ち、咀嚼しやすいように細かく刻んだり、酢を加えたり工夫します。爪切りや、愛読している新聞・雑誌のコラムの切り抜きも指先のリハビリになっています。買い物は愉しめで、時々連れていってもらい、まとめ買いをします。耳が聞こえなくなってきましたのでテレビは字幕で、また自分が喋るときは、相

大木原 吉木あさ子 (98歳)

手の方の表情などで理解するようにしています。年をとるにつれ親しかった人達の多くが旅立たれ、時に寂寥感に包まれますが、地域の方々を始め、主治医の先生や子や孫、ひ孫達の声掛けに元気を貰い、感謝しています。

世の中の出来事には関心も好奇心もあります。でも自分でどうこうできない事柄については「そんなことしーらんよ」と割り切ります。

今や毎日のトイレ通いも日課をこなすのも「ほによって」ですが、何事にも愉しみを見つけることが私の生き方も知れません。



### ご寄付に感謝致します

皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただいております。

- |            |                |
|------------|----------------|
| ・大東町 (大木原) | 別所 三子 様 (一般寄付) |
| ・大東町 (北 町) | 小山 圭子 様 (香典返し) |
| ・大東町 (北 町) | 藤原 貴史 様 (香典返し) |
| ・大東町 (南本町) | 三谷 紀樹 様 (香典返し) |
| ・大東町 (北 町) | 早川 光幸 様 (香典返し) |
| ・大東町 (金成下) | 鏑木左右吉 様 (香典返し) |
| ・大東町 (西本町) | 中島 光恵 様 (一般寄付) |

### 2020年度『まちづくり活動助成事業』の募集

大東地区振興あいあい募金運営委員会

2010年に開設した「大東地区振興あいあい募金」にこれまでたくさんのご寄付をいただきました。

この寄付金を活用した「まちづくり活動助成事業」の助成金申請受付を実施します。

- 対象** 10名以上の会員を有する大東地区内の活動団体
- 事業** 地域振興に資する事業
- 金額** 5万円以内の助成金
- 受付** 2020年2月1日～2020年4月30日
- 申込** 大東交流センター内



雲南市シルバー人材センター大東地区担当  
定立 君子

公益社団法人雲南市シルバー人材センターです。本部は木次町にありますが、大東連絡所について紹介します。

事務所は西町にあります。入り口がちょっとわかりにくいと思いますが大東駐在所付近をゆっくり走ってみてください。看板があります。

常駐している職員は2名、多忙な時期は3人で市民の皆さまのご依頼に対応しています。

シルバー人材センターは、「自主・自立・共働・共助」が基本理念で、その趣旨に賛同した概ね60歳以上の方が集まった自主的な団体です。

現在は大東町内130人の会員が草刈、草取り、農作業、空き家の片付けなどの作業に取り組んでいます。障子張り・襖張りもします。また、剪定は9人が3班体制で作業をし、場所によっては全員で行

きます。会員の最高齢は87歳、自分にできる仕事で活躍しています。

作業を通して地域住民の皆さんとの交流、また事故防止のため基本2人以上で作業に赴くので会員間の交流と生きがいを得て、会員は若くはないけど若そうです。

毎年10月がシルバー人材センター普及啓発月間でありボランティア作業として、大東公園野球場の芝の苔取りを行います、野球場を使用する方々に少しでも気持ちよくプレーしていただけたらという思いです。

高齢化が進みシルバー人材センターに依頼される仕事も多様化してきますが、会員に出来ることであれば何でもお手伝いします。まずはご相談ください。



## 新任民生委員・児童委員及び主任児童委員の紹介

(任期：R元.12.1～R4.11.30)

委員名	氏名	担当区域
民生委員 児童委員	佐藤 安政	光、東町北、東町上、東町下、東町南
	鳥谷 祐子	上町、中町
	西村 武	西本町、神田町、北町
	狩野 泰秀	南本町、本町、グランデ7
	上代 昇	西町、大木原
	内田 晴臣	越戸、古城、織部
	新田 康二	田中下、田中上、グランデ1、グランデ2、グランデ3
	日野俊二郎	新庄西、新庄東、新庄南、グランデ4、グランデ5
	岩佐 倫男	新庄西、新庄東、新庄南、グランデ4、グランデ5
	石倉 脩	清田、金成上、金成下
	加納 賢二	塩田
主任児童委員	高橋 悦子	笹谷、箱淵
	井上 禧宏	町内全域(大東)



**交流センター福祉推進員  
退任・就任のご案内**

**(退任) 前福祉推進員**  
**中島 光恵**

昨年12月末をもちまして福祉推進員を退任することになりました。今後は地域住民の一員として地域の皆様と一緒に「福祉のまちづくり」に協力していきたいと思っております。大変お世話になりました。

**(就任) 福祉推進員**  
**細川美佐江**

1月から地域の福祉活動に関わらせていただくことになりました。大東育ち、地域の方々と支え合いたいと思っております。どうぞよろしくをお願いします。

中島光恵      細川美佐江

### 令和元年12月末現在の人口・世帯数【(内は対前々月比)】

項目	雲南市	大東町	大東地区
総人口	37,720人 (▲121人)	12,018人 (▲59人)	3,491人 (▲30人)
男性	18,192人 (▲62人)	5,851人 (▲35人)	1,673人 (▲17人)
女性	19,528人 (▲59人)	6,167人 (▲24人)	1,818人 (▲13人)
世帯数	13,748世帯 (▲8世帯)	4,171世帯 (▲3世帯)	1,250世帯 (▲1世帯)
高齢化率	38.86% (+0.07%)	38.67% (+0.06%)	—

資料：雲南市HPより

# まなびの泉



## 私のがんばりたいこと

大東小6年 佐藤 心彩



私が今年がんばりたいことは、一人で行動し、勉強をたくさんすることです。わたしはいつも友達を待ったり、待ってもらって授業が遅れてしまったことがありました。中学校は教室が多いので一人で行動できるようにしたいです。また、勉強をたくさんするためには、授業で先生の話をしっかり聞き、宿題のやり方を考えて自分から積極的に取り組むことが必要だと思います。中学校は小学校よりも勉強が難しくなるので、ちゃんと勉強ができるようにがんばりたいです。小学校生活もあと少しな

ので、一日一日を大切に、みんなとたくさんの思い出を作りたいです。

## 中学校に向けて

大東小6年 佐々木 恵吾



ぼくが今年がんばりたいことは、自分で考えた予想を、素直に手をあげ意見を発表できるようにすることです。ぼくは、今まで予想を考えたとき、ペアでは自分の意見を言うことは進んでできました。でも、全体での発表ではいつも人まかせて、どんどんその人たちが話が進むことがありました。だから自分の意見を言うことのように努力して、授業でもっと意見を言えると、とても楽しくなると思います。小学校での生活はあと少ししかないけど、中学校に入るまでには手をあげられるようにしたいです。人に流されたり発表を人まかせにしたりせず、自分の意見を言える中学生になれるよう、最後の小学校生活をがんばりたいです。

## めざせ!あいさつNO.1のこども園

～あいさつは、だれのため?～

雲南市立大東こども園【幼稚園】 園長 土江 真子

私たちの祖先は、日本のことを「言霊の幸はふ国」と万葉集で詠んで、よい言葉には幸をもたらす力があると信じてきました。良い言葉を発すると良い事が起こる。そんな意味でしょうか。最近感じることは、自分の気持ちは、そのまま表情や声の調子になって相手に伝わるのではないかとということです。つまり、心の在りようが自然に言葉で表れているのではないかと感じています。逆に、きちんと挨拶を交わして自分も気持ちが良いという時は、言葉から相手の心も整っているのが感じられます。そう考えると、自分の挨拶の仕方やふるまいを省みれば、自分の心の在り方がわかり、挨拶は自分の問題で

あることが言えるのではないかと思います。

こども園の職員も、“子どもの笑顔”は、まず、職員の笑顔と優しい言葉がけからという思いで、子どもより先に挨拶や声かけをするように心がけています。大人の温かな言葉や和やかな表情は子どもの心を安定させます。

園での素敵なひとコマを園だよりに掲載したところ、保護者様よりすぐにコメントを返していただきました。保護者の皆様にご協力をいただきながら『あいさつNO.1のこども園』をめざしていきたいと思えます。園でのひとコマと保護者様のコメントを紹介し



## 疲れも吹き飛ばす「おつかれさまでした」の一言

子ども達が生活していて気持ちよいこども園、来園者からもきれいで気持ちよいこども園と感じていただけるように、まずは園舎内の掃除も頑張っているところです。職員だけでは運べなかった壊れた物を、地域の方に手伝ってもらい片付けました。トラックに何度も乗せて片付けをしてくださるそんな様子を子ども達は見ていたのでしょう。園に帰られたその時に、年長児が「おつかれさまでした。」と笑顔で労いの言葉を自らかけていました。手伝ってくださった方も思いもしない年長児の言葉かけに自然と笑みがこぼれ、「あ～今の一言で元気になったわ」と笑顔を返されました。側で聞いていた私達職員も大感激したところです。

後でその年長児に家で誰かが言われるのか尋ねたところ、「お父さんがみんなに、『お疲れさま』って言

われるよ」と話してくれました。家族の何気ない会話が心に深く刻まれているのですね。だから、瞬時に「おつかれさま」という感謝や労いの言葉がかけられたのだと思います。

温かい言葉が交わされる家庭で育つことで、子どもにも思いやりや感謝の心が育まれていきます。それが、ひいては友だち、こども園、社会においても、言葉を大切につかいながら、よりよい人間関係を築けるものになっていくと思います。家庭は子どもの心の基地、家族の言葉づかいも、子どもを育てる上での重要な環境だと強く感じたひとコマでした。

## ～保護者さんの感想～

子どもの挨拶の様子を知り、いつの間に成長したのかとても嬉しくなりました。日常の中で親が気づかないところで、子どもは親の姿を見ていると思うと、背筋がピンとする思いです。

全国からの  
お便り



## 「大東町の大自然で育って」

松江市 狩野 郁雄 (新庄東出身)



生まれ育った大東の地を離れて、早いもので42年もの歳月が過ぎました。昨年開催された還暦同窓会では懐かしい友人達と童心に戻り、皆さんと楽しい時間を過ごし時間を忘れるほど話したことが、本当に嬉しく思いました。高校卒業後、一度は県外へ就職しましたが地元に戻り、縁あって和菓子の世界へと進むこととなりました。現在は松江市に住まいを構え老舗和菓子店「彩雲堂」で和菓子職人をしています。

当初は「好きな和菓子がたくさん食べれる」との思いで、職場ではつまみ食いもさせてもらいましたが、現在では品質確認や研究のため食べるが多くなりました。年齢とともに量は少なくなりましたが、和菓子を食べるのは今でも大好きです。

和菓子には沢山の種類があります。中でも生菓子は四季の移ろいを感じて頂けます。季節を少しだけ先取りする菓銘、色合い、デザインで表現して「もうこのお菓子が並ぶ季節なのね」と感じて頂けるよう考えています。

若手のころ自分の考えたデザインが採用され、店頭に並びお客様に買っていただく事に和菓子造りの楽しさと魅力を感じていました。子どものころから人に喜んでもらえる事をするのが好きだったので、丁度自分の性格に合ったのかもしれません。

もちろん最初から上手くお菓子が作ることが出来たわけではなく、厳しい下積み期間があっ

ての事です。今の若手には昔の様な修業を押し付けようとは思いませんが、努力と挑戦しただけ自分の力に成ることを少しでも伝えることが出来ればと思います。そして実直な努力と研鑽をつめば、全国の和菓子職人の方々と肩を並べお付き合いできることを知って欲しいと思っています。

近年は自分の技術向上はもちろんの事、和菓子の発展と技術伝承を進めるために和菓子研究団体「松江松和会」会長と島根県菓子技術専門校の講師を託され尽力させて頂いています。

又松江市の観光施設「カラコロ工房」で開催している和菓子教室の講師も務め、県内外はもとより、外国からお越し頂いた方に和菓子の魅力と楽しさを伝えています。

和菓子の世界は奥が深く42年近く経った今も分らないことは沢山あるのですが、季節感を感じて頂く生菓子のデザインには、生まれ育った大東、新庄、山尾谷の大自然、山で、川で、田んぼで、夢中になって遊んだ子供のころの原体験が役に立っています。

今後も自然豊かな大東町で有って欲しいと願い、里帰りしたとき胸を張って「帰って来たぞ〜」と言える様に今後とも精進していきたくと思います。

最後になりますが、大東町の益々のご発展と、皆様のご健勝を願い終わりと致します。

大東町の発展を心よりお祈りいたします。



にがおえて  
こんにちは!

## 女性の感性と行動力と明るさで頑張ってます

大東地区女性振興会長 光谷由紀子

大東地区女性振興会の活動にご支援いただきありがとうございます。会が発足して今年で13年目を迎えました。大東地区自治振興協議会の一員として助成を受けながらですが、独自に運営しています。

現在、31名の会員が大東地区を少しでも元気になるようにと活動しています。春祭のトラック市、えびす祭のピアガーデン、秋のよいとご祭へ出店し賑いを盛り上げています。また、会員研修、会員の健康教室を行い、会員自身が元気で活動できるような取り組みもしています。昨年の研修では、木次線応援活動の一環として、木次線Tシャツを会員が着て、トロッコ列車に乗車して盛り上げました。その他、ねんりんセンターのトイレ掃除、福祉委員会、生涯学習運営委員会への活動協力なども行っています。会員のみなさんには、無理なく活動に参加していただくようにしています。

(絵:大東町東町北 細田 滋)

今、国においては、女性総活躍と言われていますが、女性の地位は世界で12位という低さです。そんな状況が大東ではないように、元気で明るく活動できるように、女性の地位向上を図っていきたくと思っています。

ぜひ、多くの女性のみなさん、会員へのご参加をいただきますようお待ちしております。

大東のなつかしい風景や  
人々の生活を写した写真があり  
ましたらご提供ください。  
(編集委員会)

## 郷土の暮らしと文化

## 「国務大臣 木村小左衛門」

大東の歴史を探ねる会 宮澤 明久



明治21(1888)年2月2日、大東町の名家木村儀三郎(犬城屋)の次男として生まれ、松江中学校から早稲田大学へと進むが病により中退し郷里へと帰り療養に務め健康を回復した。

その後は、雲南地域の開発に努め、簸上鉄道(木次線)専務や三葉自動車(陰陽連絡バス)社長などの要職を勤め陰陽の連絡網の整備を進め、雲南地方の産業・交通の発達に大きく貢献した。

郷土の産業・文化・交通の発展に寄与した後は政界に目を移していき、郡会長を勤めた後は大正13(1924)年から昭和11(1936)年まで衆議院議員に5

期連続で選ばれた。松江出身の若槻礼次郎の内務大臣・総理大臣時には秘書官・拓務大臣参務官を勤めたが、昭和12(1937)年の総選挙では落選した。その後、日本硝子窯業(株)など数々の会社を創立して実業界で活躍した。

昭和21(1946)年、戦後1回目の選挙では当選し、以後3期連続当選し衆議院議院副議長、農林大臣、内務大臣、国務大臣などを歴任し政界の重鎮として活躍した。昭和27(1952)年病に倒れ享年64歳で東京の自宅で没し、東京では改進黨による党葬がそして郷里の大東では町葬が行われ木村家の墓所がある大東宗専寺に葬られた。しかし、昭和43(1968)年4月17日に催された17回忌を機に東京へ遷墓された。

写真は、内閣総理大臣官邸で撮られたもので、昭和6年8月5日付けで大東の知人に宛て出された暑中見舞いの葉書である。座っている若槻礼次郎の右に立っているのが木村小左衛門氏である。



さとう ふみこ  
佐藤 文子さん(上町在住)



令和2年最初に登場していただくのは、卒寿を卒業、次なる目標「白寿」に向かって前進中の、元気印、佐藤文子さんです。  
「明けましておめでとうございます。」背筋を伸ばし、しっかりとした口調で話して頂きました。

**Q** 高齢者社会を迎えましたが、今尚元気潑刺としてお暮らしですが元気の源は何ですか？

昭和4年2月生まれの90歳です。このところ病気知らずの入院知らず。中年のころ糖尿病を患いそれから食事の改善と軽い運動の継続で元気になりました。今でも毎日友達と散歩を続けています。ご飯も約100gと少なめに食べて病気と仲良く付き合っています。「継続は力なり」ですね。

**Q** グラウンドゴルフでも各種大会で上位入賞されるなど実力は相当なものですね。いつ頃から、また始めたきっかけは何ですか？

昭和59年大東町で初めてグラウンドゴルフの普及指導会があり参加、その時から「これは楽しくて面白いな」と思い始めました。今でも続けてやっています。打ったボールの位置まで早足で移動、これがいい運動になります。健康にも良いということで虜になり普及にも努めてきました。当初10名ぐらいでしたが今では、会員が100数十名になりました。各種大会にも参加、上位入賞も何度か経験しました。個人の責任で楽しめる競技なのでほんとに楽しいです。月、水、金が練習日とても待ち遠しいです。「好きこそもの上手なれ」でしょう。

**Q** 今の生きがいは何ですか。

元々料理が好きで皆さんから「うまい!」と褒められてきました。料理をすることも生きがいの一つです。でもやっぱり週3回のグラウンドゴルフかな、「天気良くなれ!」と祈るほどです。

また、近所の仲間と買い物に行ったり、某食料品店に1週間に1回出張販売を依頼し近所の玄関を提供してもらって賑やかしたり、みんなが気軽に訪ねて来て茶飲み話をする事です。

これからの人生は、好きな料理を活かし、うまいもんを食べること。90年の人生、辛くて悲しい思い出は封印し、近くに嫁いだ娘さんを頼りに甘えつつ「ありふれた言葉ですが『健康第一で、人に迷惑をかけない』ことをモットーとし、元気でいることに感謝をしながら過ごして行きます。」と優しく話して頂きました。

明日もまた好きなグラウンドゴルフをするためにスティックを担ぎ丸子山に向かう姿が浮かんできます。いつまでもお元気ー!!